

令和4年度

# 町政執行方針

(3月議会定例会)

鹿追町長 喜井知己

～～～はじめに～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

令和4年第1回鹿追町議会定例会が開催されるにあたり、  
町政執行の方針を申し上げます。

私が令和時代の幕開けと同時に町政の舵取りを担わせて  
いただき、本年は4年間の任期の締めくくりの年となります。

この3年間、町の未来を託された責任を果たすため、これ  
までのまちづくりの歴史を踏まえつつ「安心して暮らせるま  
ちづくり」そして「愛・夢・笑顔 あふれる未来へ～支え合  
うまち♡しかおい～」実現のため、直面する課題に全力で取  
り組んできたところであります。

町長就任時に公約として掲げた、まちづくり全般にわたる  
8項目の基本政策につきましても、職員と共に知恵を絞り、  
議員各位、そして町民皆様のご理解とご協力のもと、その全  
てが進展し実現できるものと考えております。

任期総仕上げのこの1年、残された課題と新たな課題に対  
しまして、町民皆様の暮らしに寄り添いながら、町議会と常  
にコミュニケーションを絶やさず、次の100年に向けて誠  
心誠意取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を  
お願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症と私たちの闘いも早2年  
以上の長期にわたっております。この未知のウイルスは、巧  
みに変異を繰り返しながら全世界で猛威を振るい、多くの尊

い命を奪い、社会経済と人々の暮らしに甚大な被害を及ぼし続けております。

この間、町民皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、国や北海道と連携しながら、感染症の対応及び各種支援対策などに最善を尽くしてきたところであります。

この様な中にあっても昨年は、延期をしておりました開町100年を記念する各種行事について、状況を見極めながら可能な限り実施し、無事終わることができました。

また、町の情報発信機能の充実、鹿追町強靱化計画の策定など災害への備え、子育て支援の拡充、教育のICT化、ジオパークの再認定、行財政改革大綱の策定など、この先本町が持続的に発展していくための各種事業につきましても、着実に進めることができたと考えております。

議員各位をはじめ、ご協力いただきました皆様に改めてお礼を申し上げる次第でございます。

現在このコロナ禍において、都市から地方への関心の高まり、デジタル化の進展、脱炭素社会に向けた取り組みなど社会変革の動きにより、地方創生への可能性が益々広がってきております。これらの潮流を的確に捉え、将来を見据えた政策に果敢に挑戦していきたいと考えております。

引き続き感染拡大防止に取り組みながら「ウィズコロナ」そして「ポストコロナ」を念頭に、地域の魅力と本町の優位性を一層磨き上げ、ゼロカーボンシティへの取り組みを具体化する等、新たなステージへ向け躍進する年となるよう、町政執行に当たりたいと考えております。

以下、諸般について申し上げます。

~~~~~

### **当初予算及び財政状況について申し上げます。**

令和4年度当初予算の規模は、一般会計が68億5千6百万円で前年比3.3%、2億2千万円の増、6特別会計を加えた全会計の総額が94億2千6百万円で同1.2%、1億1千3百万円の増となっております。

主な増減要因といたしましては、令和3年度で開町100年記念事業、高規格救急車整備事業等が完了しましたが、しかおい水素ファーム運営委託事業で5千万円、水素燃料電池自動車購入事業で3千万円、町営牧場トラクター等更新事業で2千8百万円、鹿追小学校・鹿追中学校のエアコン設置を含めた大規模改修で1億6千8百万円の事業に取り組むため、全体として増加となりました。

歳入では、町税で前年度比2.1%増の8億5千7百万円、地方譲与税で14.4%増の1億4千7百万円、地方消費税交付金で19.6%増の1億1千万円、地方交付税で7.1%増の28億5千万円、国庫支出金で4.6%増の5億1千6百万円、道支出金で畑作構造転換事業等により15.8%増の2億8千7百万円とする一方、繰入金は9.3%減の5億

3千8百万円、町債は、1.7%減の2億8千4百万円を計上しました。

歳出では、工事請負費で4千6百万円の増に加え、水素ファーム関連により委託料でも5千8百万円の増、備品購入費で5千5百万円の増、負担金補助及び交付金においても4千4百万円の増となりました。

本町の令和2年度における財政状況は、経常収支比率につきましては、管内全市町村平均を7.2ポイント下回る、前年度比3.1ポイント減の80.3%と改善されましたが、依然として高い水準となっております。

また、財政健全化法に基づく実質公債費比率についても、前年度比0.2ポイント減の10.3%、将来負担比率は同8.5ポイント減のマイナス6.0%であります。

今後も継続して行財政改革を進め、効率的で効果的な行政サービスを提供するため、ICTを活用した町民サービスの向上と財政基盤の強化を図り、未来を見据えた安定的な行財政運営に努めてまいります。

### **最初にまちづくり関係について申し上げます。**

鹿追型ゼロカーボンシティにつきましては、今年2月に策定した推進戦略に基づき、2050年を目標とした脱炭素ロードマップにより、町民をはじめ民間事業者の皆様と一体と

なり、徹底した省エネルギーに取り組み、新たな再生可能エネルギーの導入と有効活用により脱炭素社会へ向けた地域づくりを進めてまいります。

国際交流関係につきましては、ストニイプレイン町との対面での交流再開に向けた準備を進めるとともに、オンライン等による交流促進を図ってまいります。

地域間交流事業につきましては、東京都「台東区」と特定分野（環境・産業）における連携協定に加え、新たに締結した災害時相互応援協定に基づき、更なる連携を強化してまいります。

また、昨年から国の実証事業として取り組んでいる「ワーケーション事業」につきましては、コロナ禍により減少した観光客の回復と本町が抱える課題の解決や地域活性化が期待できることから、関係各課、町内事業者と連携を図り進めてまいります。

陸上自衛隊鹿追駐屯地維持拡充につきましては、「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」が令和4年度末までに改定される見通しであることから、部隊の新編や改編などの動向に留意しつつ、引き続き町議会、関係諸団体、町民皆様及び警備地区のご理解とご協力をいただきながら、維持拡充運動を進めてまいります。

情報発信関係につきましては、防災行政無線や広報誌、SNSによる情報提供のほか、令和3年度からスタートした、お知らせアプリ「ミジカ」によりリアルタイムに情報を配信してまいります。

また、町内全域に高度無線環境が整備されたことから、高齢者等を対象にした講習会や勉強会を通して、スマートフォンなどのデジタル機器の活用など、ICTの利用促進や情報格差の解消に努めてまいります。

### **町民生活関係について申し上げます。**

町税につきましては、町民皆様の高い納税意識に支えられ、高い収納率を維持しております。今後もきめ細やかな納税相談を実施し、納税に対して一層の理解を求めるとともに、税の基本理念である公正・公平を図り、適切な課税・納税を推進してまいります。

防災・防犯・交通安全関係につきましては、町民皆様が悲惨な事件・事故に遭うことなく、平和な生活を送ることができるよう、地域住民のご協力や各種団体との連携により、安心・安全なまちづくりを推進してまいります。

生活環境関係につきましては、広域化共同処理に移行したごみ処理を滞りなく進めていくため、ごみ分別方法等の周知を丁寧に行いご理解とご協力を求めるとともに、ごみの減量

化の推進に努めてまいります。

戸籍窓口関係につきましては、親切で丁寧な対応を心がけ、法令遵守の下、迅速で適正な事務処理を行うとともに、町民皆様にとって利便性の高い総合案内窓口として行政サービスの向上に努め、併せてキャッシュレス機能の導入を図ってまいります。

### **瓜幕支所関係について申し上げます。**

瓜幕地区の中心的施設であるウリマックホール及びうりまく夢創造館での、地域の自主的な活動や文化活動を推進するとともに、ライディングパーク、道の駅うりまく、パークゴルフ場を活用して情報発信とイベントを開催し、地域の振興と観光振興を推進してまいります。

更に、自然体験留学センター、うりっ子ルームが行う事業と連携を図り、ジオパーク推進課と一体となって地域の活性化を図ってまいります。

### **農業関係について申し上げます。**

令和3年度の本町農業は、作付け作業時は強風・低温、その後6月には干ばつ、7月は干ばつ・高温と今まで経験したことのない厳しい状況でありましたが、平年を上回る収量となりました。



また、生乳生産も12万トンを超え、農業生産額は史上最高の248億7千8百万円となりました。このような結果を出されたのは農業者皆様のご努力と関係機関のご尽力によるものと改めて敬意を表するものであります。

農政、畜産関係につきましては、持続可能な農業の確立に向けて、国・道及び関係機関と連携を取りながら対応してまいります。

また、町営牧場の作業機械の更新を図り、併せてJA鹿追町と連携し労働力の確保などの農業支援を継続しながら経営の安定化、競争力強化を推進してまいります。

農業農村整備事業につきましては、道営事業など引き続き実施し、笹川地区国営かんがい排水事業につきましては、令和5年度の着手を目指してまいります。

環境保全センター事業につきましては、安定かつ適正な運営に努めるとともにバイオマスエネルギーの有効活用を推進してまいります。

未整備地区のバイオガスプラント整備につきましては、財源の確保、系統接続等の協議を進め、建設に向けての検討を進めてまいります。

また、電力に代わる新たなエネルギー利用について、町の施設となる「しかおい水素ステーション」の管理委託を行い、水素燃料の更なる利活用を推進してまいります。

鳥獣被害対策につきましては、鹿追ハンティングクラブと連携して進め、対策の持続と自己防衛などの観点から、狩猟免許を取得するための支援を継続してまいります。

### **農業委員会関係について申し上げます。**

農業者の公的代表機関として、農地等の利用の最適化のため、担い手への集積と集約化を図り、効率的な農業経営の支援に向けた農地行政を推進してまいります。

また、新規就農促進と担い手対策につきましては、今後の方向性を探りながら関係機関との協議を継続してまいります。

農業や農地に関する相談をはじめ、農業者年金の加入促進や農業青年交流事業を推進し、農業者の生活安定と福祉向上を目指してまいります。

### **保健福祉関係について申し上げます。**

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種につきましては、国の方針に基づき3回目及び若年者への接種を速やかに実施し、健康被害リスクの軽減を図ってまいります。

また、コロナ禍であっても更なる特定健康診査の受診率向上に努め、検査項目の充実とともに健診結果や健康医療情報の分析を行い、きめ細やかな保健指導に努めてまいります。

国民健康保険事業につきましては、北海道との共通認識の下、効率的な事業により安定化を図ってまいります。

また、子育て世帯の生活支援の観点から、新たにひとり親世帯の親に係る通院医療費助成を行ってまいります。

子育て支援につきましては、「子育て世代包括支援センター」を中心に、きめ細やかな育児支援に努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、医療機関、社会福祉協議会等と協力して在宅医療介護連携を図るとともに地域包括ケアシステムの充実に努めてまいります。

認知症になっても安心して生活できるまちづくりを目指し、若い世代から認知症を正しく理解する機会を設けるとともに、更なる知識の普及や見守り体制を広く町民に周知啓発してまいります。

また、高齢者の権利擁護に関わる成年後見制度の周知と相談支援の強化を図ってまいります。

障がい福祉につきましては、相談支援や福祉サービスの充実に努めるとともに、地域自立支援協議会の更なる活性化を図ってまいります。生活困窮者支援では、社会福祉協議会や民生委員などと連携を図りながら、自立に向けた支援の充実に努めてまいります。

令和3年4月から、福祉重層的支援として町の行政組織を横断する体制で町民の福祉ニーズに対応する仕組みを整え

ており、今後は、支援事業の分析と評価を通して、必要な見直しを行い、より効果的な事業として推進してまいります。

## **子ども・子育て関係について申し上げます。**

学童保育所が開所から1年経過し、こども園に兄弟姉妹がいる保護者の送迎等の負担軽減や、小学校児童の健全育成の向上など切れ目のない一体化した子育て支援の場となっていることから、今後も多様で細やかな保育・教育に努めてまいります。

また、令和4年3月末をもって、笹川保育所が閉所となります。各地域保育所においても入所者数が減少傾向にありますが、今後も保護者や地域のご意見を大切にしながら、子ども達にとって最適な保育・教育環境を最優先にするという考え方に立ち、活動の充実に努めてまいります。

発達支援につきましては、関係機関との連携を強化し、保護者の思いを共有しながら、子ども達一人一人に適応した療育を行ってまいります。

また、集団の中での感染症リスクの軽減を図りながら、子どもたちが伸び伸びと活動できる環境を整えるため、「登降園管理システム」を導入し、保護者や子育て世帯の皆様が安全・安心な子育てができるよう支援してまいります。

## **商工観光関係について申し上げます。**

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、経済活動が著しく停滞しており、商工業、観光業ともに、以前のような集客ができない状況が続いていることから、新年度におきましても状況に応じて様々な支援を講じてまいります。

また、サイクルツーリズムなど、新たな観光資源をフル活用し更なる誘客促進に努めてまいります。

チョウザメ事業につきましては、良質なキャビアの早期採取を目指すとともに、魚肉の安定的な供給と販路拡大を進めてまいります。

マンゴー栽培につきましては、安定した収穫が続いており、引き続き事業主体である農村青年会への支援を行ってまいります。

ふるさと納税につきましては、出店事業者の方々と一体となって、魅力的な返礼品を開発し、鹿追町産の商品を全国に届けられるよう取り組んでまいります。

## **ジオパーク関係について申し上げます。**

令和3年度に2度目の再認定審査が行われ、とちぎ鹿追ジオパークの活動が高く評価された結果、再認定となりました。

今後も、町民皆様や各関係機関と連携し、「鹿追型ゼロカーボンシティ」活動とも協調しながら、環境保全、教育と人材育成、観光振興につながるジオパーク活動の推進に努めてまいります。

### **建設関係及び公園・花関係について申し上げます。**

町道につきましては、適切な維持管理に努め、安全で安心して通行していただけるよう、補助・単独事業において整備を進めている路線の早期完成を目指してまいります。

また、橋梁につきましては、平成26年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」の見直しを行うとともに、令和3年度に着手した「クテクウシ橋橋梁解体工事」を継続して進めてまいります。

国道につきましては、国道274号の未改修区間工事及び、昨年度着手した美蔓、笹川地区の防雪対策の推進に向けた工事について、引き続き要望してまいります。

道道につきましては、道道鹿追糠平線の未改修区間の工事着手を要望するとともに、然別川の浚渫事業につきまして北海道と連携して事業推進に協力してまいります。

建築関係につきましては、公営住宅等長寿命化計画を基に継続して白樺団地の解体と瓜幕文京団地の外部修繕を進め

るとともに、新生団地の解体及び南町団地の外部修繕に着手してまいります。

今後も公営・町営住宅の維持修繕に努め、住環境の整備を進めてまいります。

花とみどり関係につきましては、「環境美化宣言」に基づく花による美しいまちと豊かな景観づくりを進めるため関係団体、町民の皆様方と連携を図ってまいります。

また、「しかりべつ川公園パークゴルフ場」及び「しかおいG E O P（ジオ）パークゴルフ場」を中心に、町内の各公園が魅力的で安全に利用でき、誰からも親しまれる公園として、適切な管理運営に努めてまいります。

水道関係につきましては、「安全で安心な水」の供給と適切な維持管理に努め、未普及地域解消に向け東瓜幕地区の配水管未整備地区の整備を進めてまいります。

下水道関係につきましては、鹿追町浄化センターの機器更新に向けた実施設計を行うとともに、個別排水処理施設設置事業を継続し、町内全域の生活環境の整備、向上を図ってまいります。

## **消防関係について申し上げます。**

近年、全国各地において気候変動による豪雨災害など、激しさを増す風水害が多発しており、今後発生が危惧されている大地震など、予断を許さない状況が続いております。

このような状況を踏まえ、消防施設整備、充実・強化といたしまして、「指令システム・デジタル無線機器の部分更新」及び「消防団員の装備の充実」を図ってまいります。

また、本年は、消防団創設100周年の節目を迎えることから、「鹿追消防団創設100周年記念事業」を開催するとともに、地域ぐるみでの防災力の充実強化・火災予防の普及に取り組んでまいります。

## **学校教育関係について申し上げます。**

少子化、核家族化をはじめ、デジタル化の加速度的な進展など、子どもや学校現場を取り巻く環境は大きく変化しております。

このような中で、子どもたち誰一人取り残すことなく、全ての可能性を引き出す「令和の日本型学校教育」となるよう個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現するための取り組みを進めることが求められております。

誰もが質の高い教育を受けられるよう、幼児期から鹿追高等学校まで15年間の切れ目のない教育の負担軽減を図る



ために必要な支援措置を講じるとともに、医療的ケア児を含む特別支援教育を受ける児童生徒や不登校等の困難を抱える児童生徒への支援等「ありのままのあなたを受け入れる教育」に取り組み、多様性に対応した教育を推進してまいります。

子どもたちの学習と生活の場である学校施設については、教育環境の向上と安全・安心のため、鹿追小学校及び鹿追中学校の大規模改修を実施するとともに、子どもたちにとって、持続可能で質の高い多様な運動・文化芸術活動の機会を確保できるよう、休日の地域部活動や合理的で効率的な部活動の実践の場を提供してまいります。

町内の小中高においては、全国で新型コロナウイルス感染症への対応が進められる中で、遠隔授業の実施にいち早く取り組むなど、学びを止めないための仕組みが構築されております。

コロナ禍にあっても質の高い学習機会を確保することは学校教育の使命であり、感染対策を講じながら、引き続き対面授業と遠隔授業を組み合わせた学習機会を維持してまいります。

また、グローバルレベルでのデジタル化が進む中、国際的な視野をもつ若者の育成を目指し、多様な文化の理解と尊重

の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ鹿追の子どもたちを育むため、鹿追ならではのチャレンジに満ちた国際教育プログラムの開発に取り組んでまいります。

### **社会教育関係について申し上げます。**

町民誰もが、生きがいを持ち心豊かに人生を過ごすため、生涯にわたり、「いつでも、どこでも、なんでも」学び続けられる環境を整えるとともに、文化団体等の育成と支援に努めてまいります。

神田日勝記念美術館につきましては、神田日勝の兄であり画家である一明さんとの「二人展」を開催し、日勝の画業を顕彰してまいります。

また、窓口でのキャッシュレス化を進め、利用しやすい環境を整えてまいります。

コロナ禍で取り組みが進められなかった図書館の整備、調査検討を「鹿追町新図書館建設検討委員会」と連携を図りながら行ってまいります。

スポーツ振興につきましては、体育連盟など各団体と連携し、健康維持や体力増進を図るため、スポーツの拠点施設で

ある「総合スポーツセンター」や「健康温水プール」などを活用し、町民ひとり1スポーツを目指してまいります。

### **町立国民健康保険病院関係について申し上げます。**

町立病院の医療体制を安定的に確保することは町民の方々が生活する上で最も重要であることから、通常診療に加え、夜間診療や専門科診療を継続して実施し、疾病予防や治療、リハビリを効果的に結びつけ、適切な医療を提供し信頼される病院づくりに一層努めてまいります。

~~~~結びに~~~~

以上、令和4年度、町政執行方針について私の所信を申し上げますさせていただきます。

新年度の予算案は、任期中最後の政策予算の編成となります。新型コロナウイルス感染症の対応など、目まぐるしく変化する社会情勢に対応しながら、限られた財源を駆使し、町民皆様の幸せの追求と持続可能なまちづくりのため、オール鹿追で最大限の努力をしてみたいと考えております。

どうか皆様の一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

~~~~